

## 高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査結果

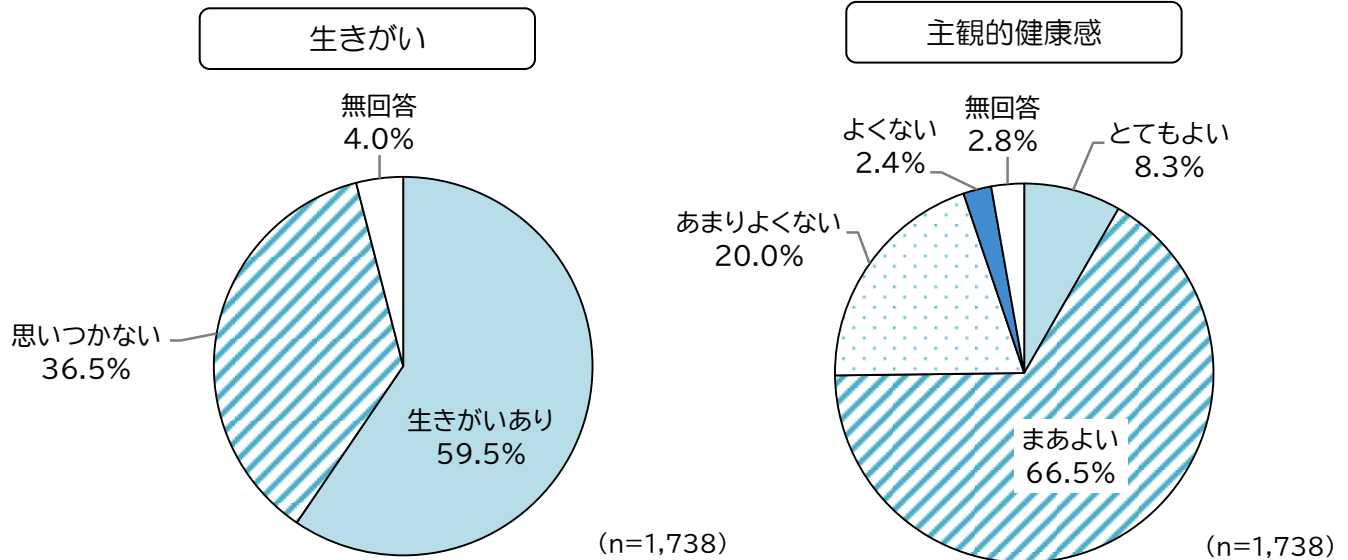
○基本目標「自分らしい生活と生きがいづくり」、重点課題①「介護予防と社会参加の推進」についてのアンケート結果

問 4-18

生きがいがありますか。

問 8-1

現在のあなたの健康状態はいかがですか。

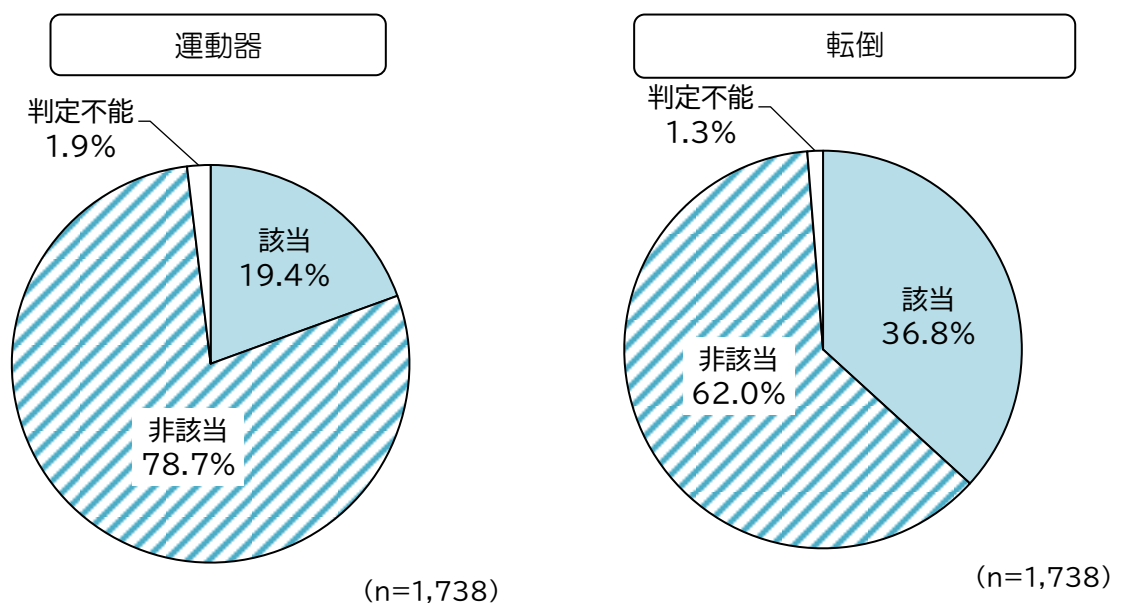


「生きがいあり」の割合は、59.5（前回：61.0％）となっている。

主観的健康感がよい人の割合は 74.8％（前回：75.8％）となっている。

リスクの状況

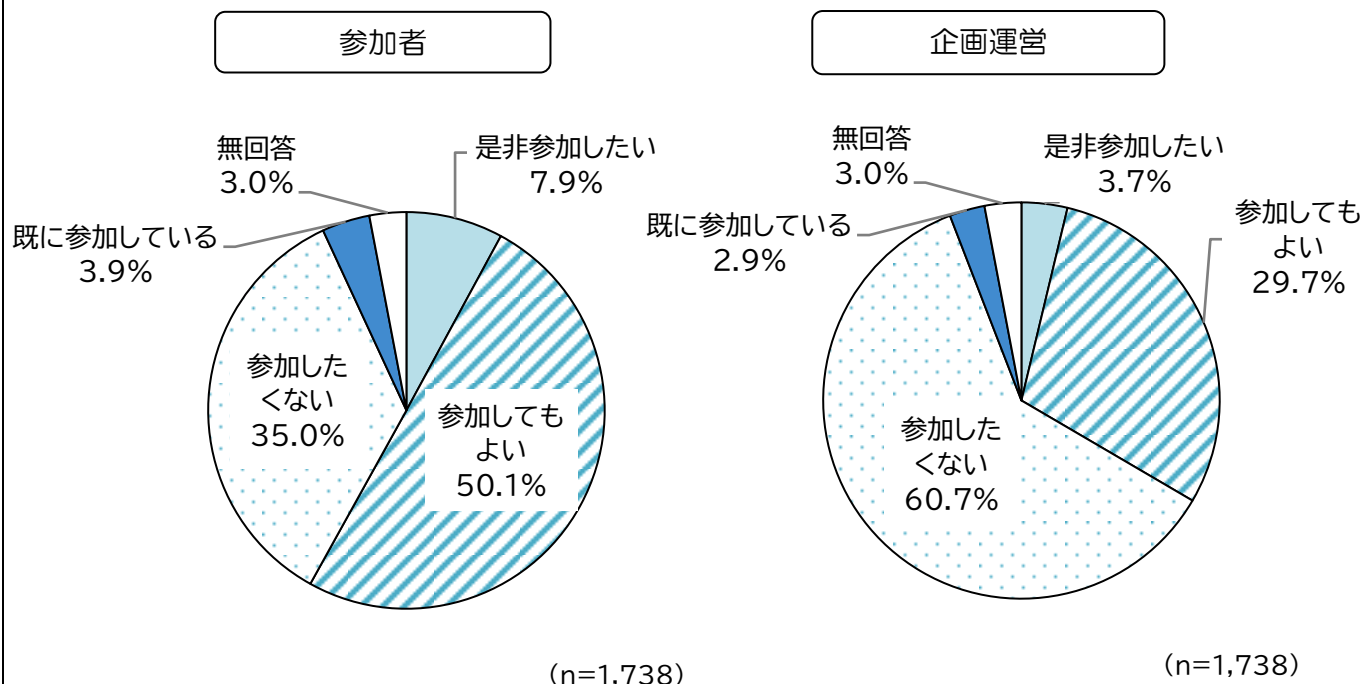
運動器の機能低下リスク  
転倒リスク



運動器機能リスク低下の該当者は、19.4％（前回：20.4％）、転倒リスクの該当者は 36.8％（前回：36.7％）となっている。

問 5-2  
問 5-3

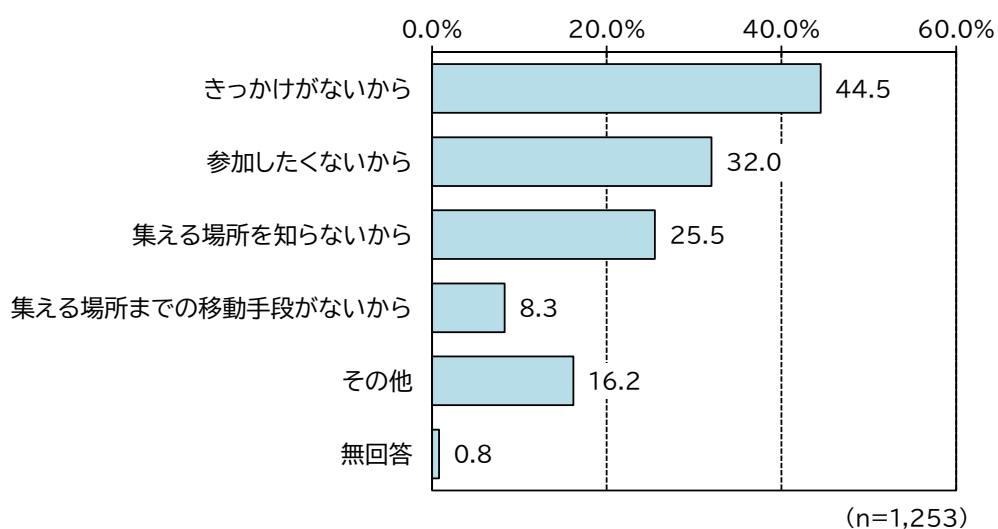
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者または企画・運営として参加してみたいと思いますか。



健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として「参加してもよい」人の割合は 58.0%（前回：55.3%）、企画・運営として「参加してもよい」人の割合は 33.4%（前回：32.3%）となっている。

問 11-2-1

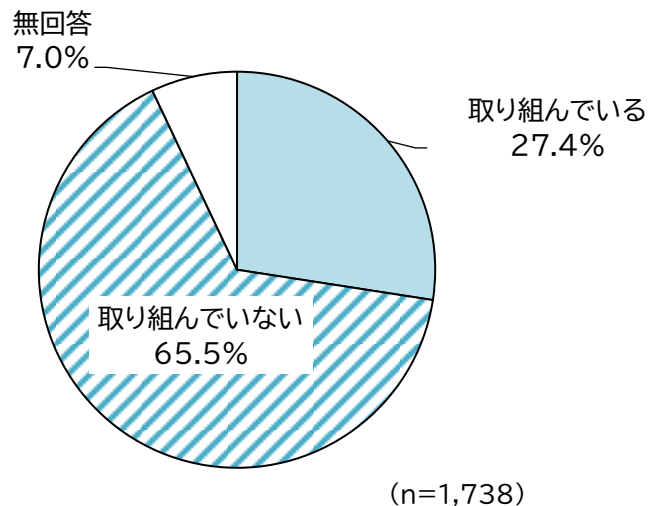
高齢者が気軽に集える場所に「参加していない」と回答した方  
参加しない理由は何ですか。



集える場所に参加しない理由として、「きっかけがないから」44.5%（前回：38.3%）、「参加したくないから」32.0%（前回：32.4%）の意見が多くなっている。

問 12-1

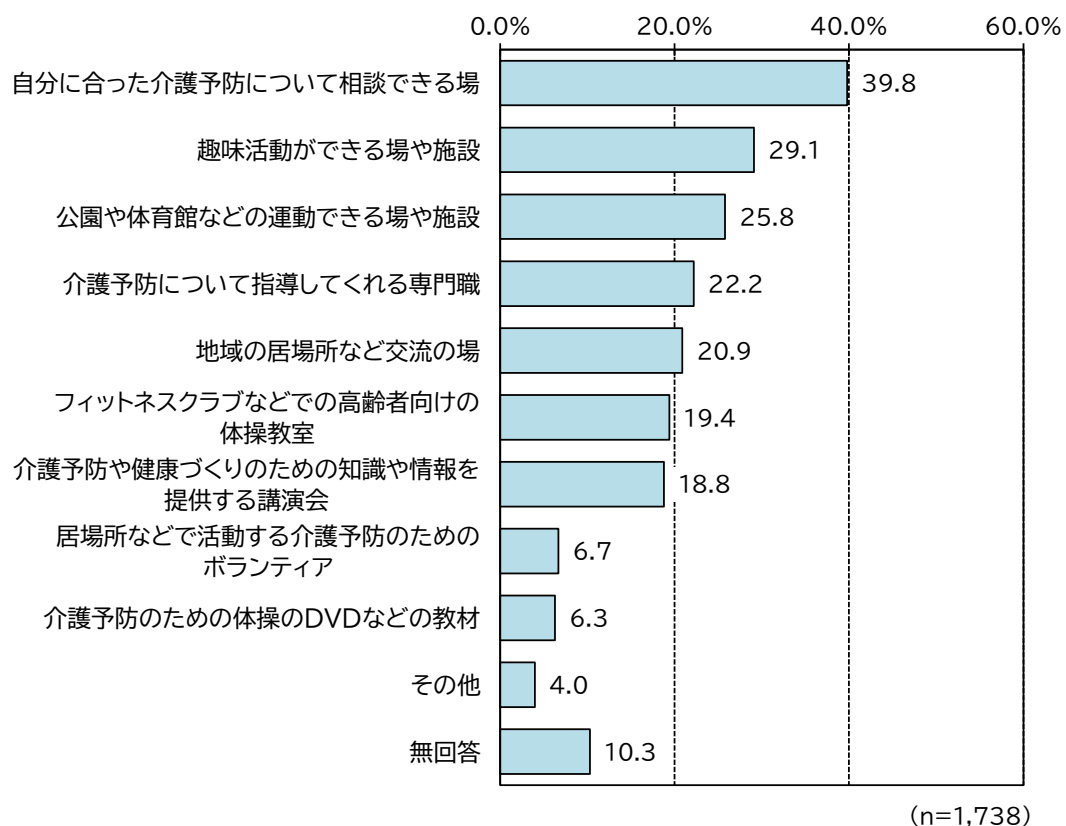
フレイル対策が重視されている中、現在あなたは介護予防に取り組んでいますか。



介護予防の取組状況について、「取り組んでいる」が27.4%（前回：21.4%）、「取り組んでいない」が65.5%（前回：72.3%）となっている。

問 12-3

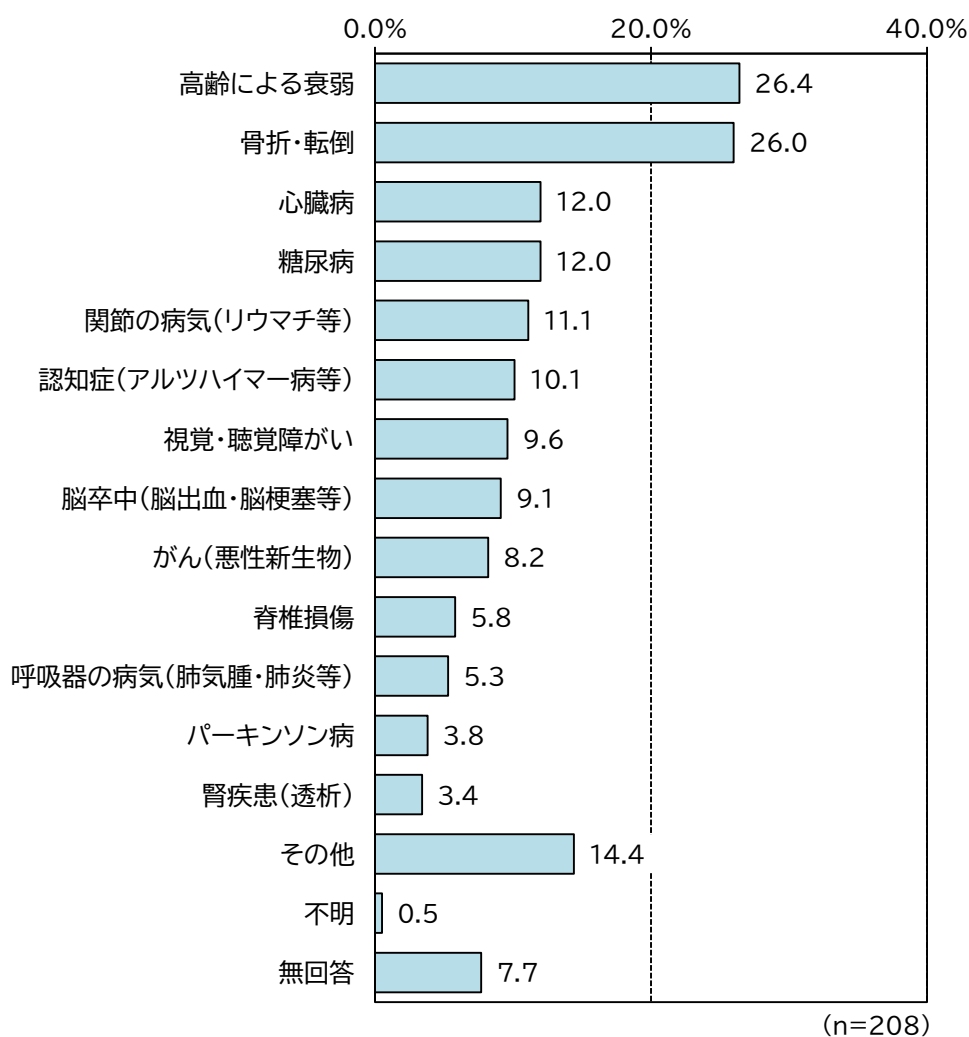
自分で介護予防に取り組むためにどのようなものがあればよいと思いますか。



自分で介護予防に取り組むために必要なものについて、「自分に合った介護予防について相談できる場」が39.8%（前回：38.8%）で最も高くなっている。

問 1-2-1

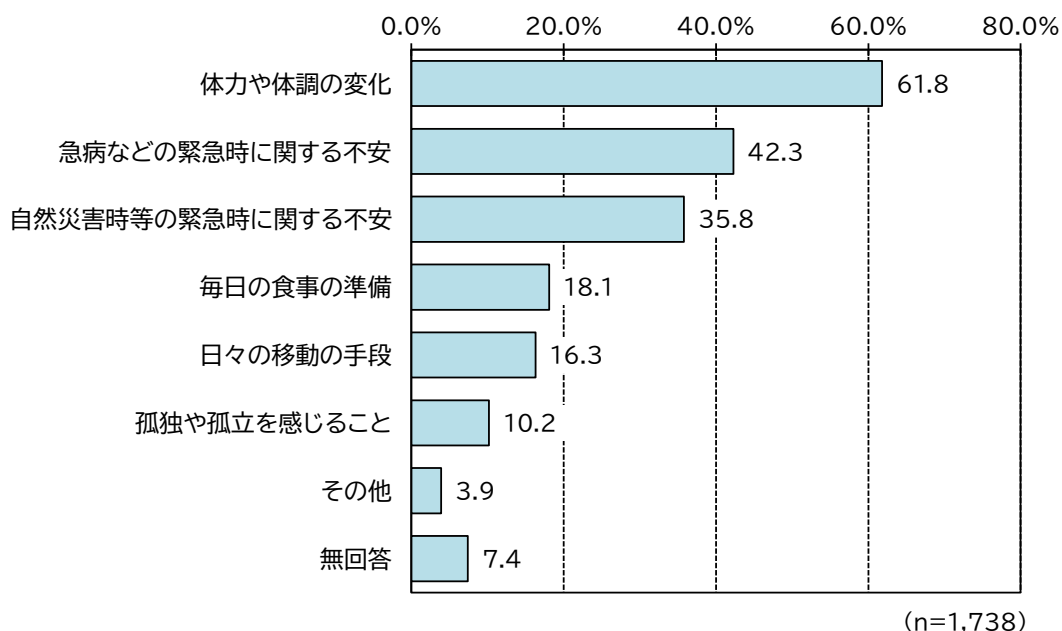
介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。



介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」と回答した人の割合が最も高く、26.4%（前回：25.9%）。次いで、「骨折・転倒」26.0%（前回：20.8%）、「心臓病」「糖尿病」12.0%（前回：12.8%・15.0%）。

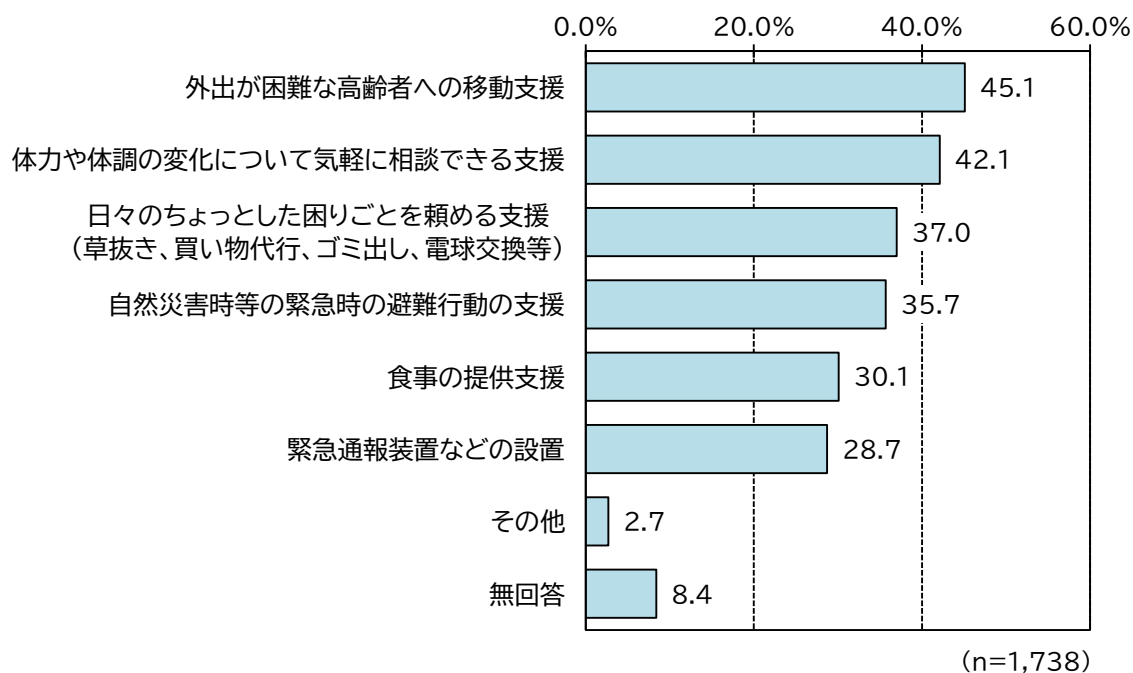
○基本目標「共に支え合い、つながる地域づくり」、重点課題②「包括的な支援体制の構築」についてのアンケート結果

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 問 10-1 | 生活の中での不安や困りごとはありませんか。 |
|--------|-----------------------|



生活の中での不安や困りごととして、「体力や体調の変化」61.8%（前回：60.0%）、「急病などの緊急時に関する不安」42.3%（前回：43.3%）、「自然災害時等の緊急時に関する不安」35.8%（前回：28.3%）と割合が高くなっている。

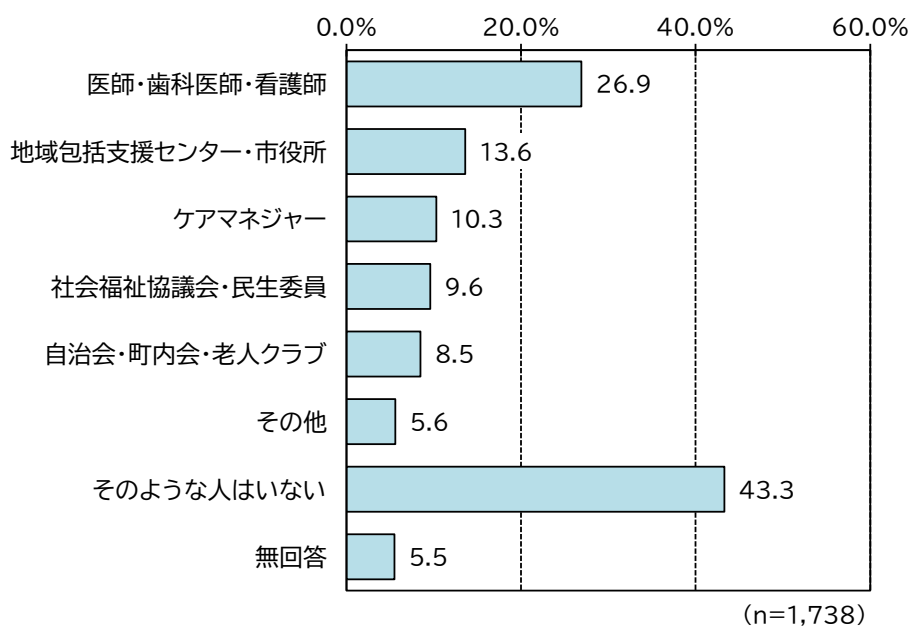
|        |                        |
|--------|------------------------|
| 問 10-2 | どのような生活支援があればいいと思いますか。 |
|--------|------------------------|



必要な生活支援として、「外出が困難な高齢者への移動支援」（45.1%（前回：47.5%））や「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」（42.1%（前回：43.9%））の割合が高くなっている。

問 7-1- (5)

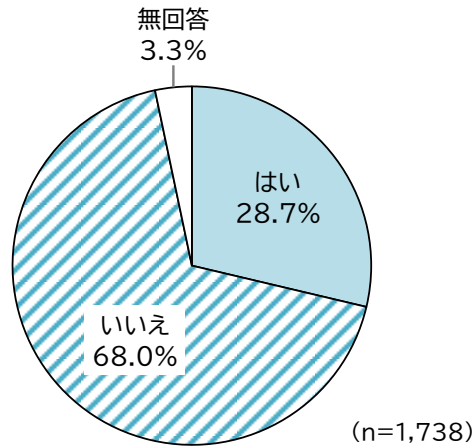
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。



家族や友人・知人以外の相談先として、最も多いのは「医師・歯科医師・看護師」の26.9%（前回：28.0%）、次いで「地域包括支援センター・市役所」13.6%（前回：10.3%）、「ケアマネジャー」10.3%（前回：8.5%）と続いており、公的機関等の「地域包括支援センター・市役所」の割合が上昇している。

問 9-2

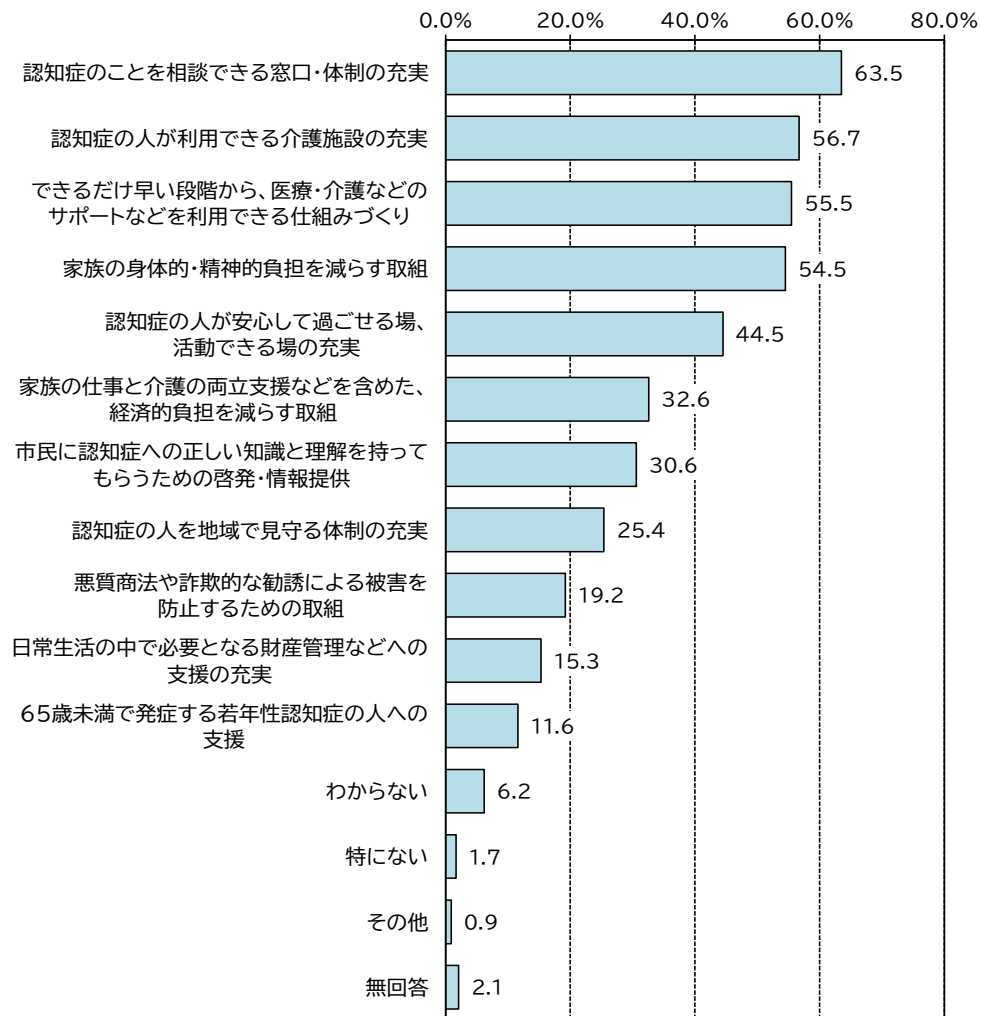
認知症に関する相談窓口を知っていますか。



「認知症に関する相談窓口」の認知度は 28.7%（前回：22.0%）と前回より上昇しているものの、低い状況である。

問 9-6

認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるためには、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。

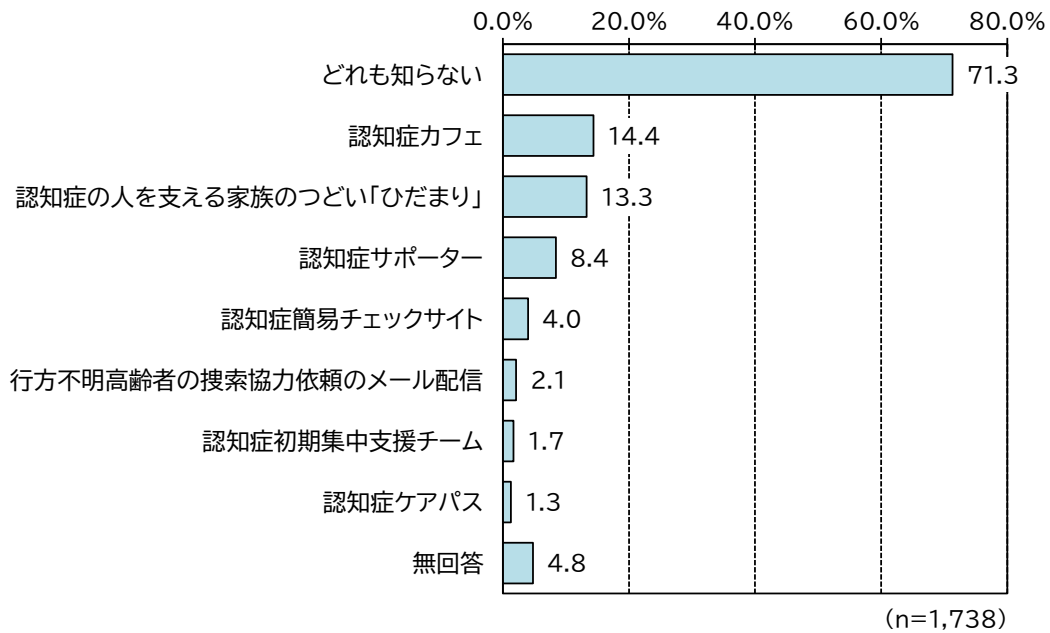


(n=1,738)

認知症になっても安心して暮らせるために重点を置くべきことは、多い順に「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」の 63.5%（前回：62.5%）、次いで「認知症の人が利用できる介護施設の充実」の 56.7%（前回：55.9%）、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」の 55.5%（前回：53.6%）となっている。

問9-7

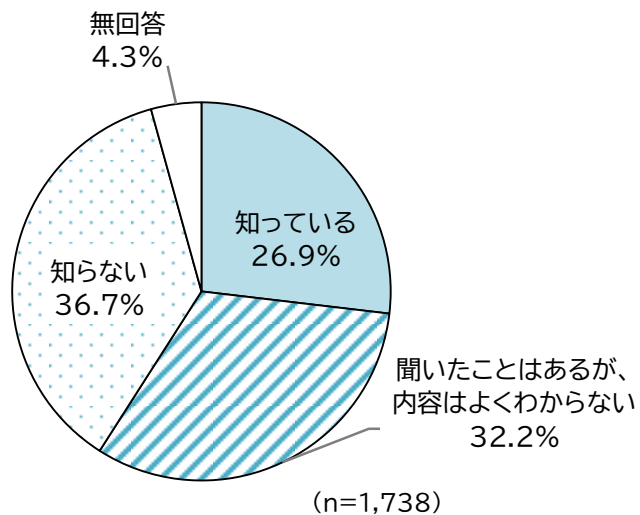
高松市の認知症に関する取組について、知っていることはありますか。



高松市の認知症に関する取り組みの認知度は、「認知症カフェ」14.4%（前回：9.0%）、「認知症の人を支える家族のつどい「ひだまり」」13.3%（前回：9.9%）が1割を超えたものの、依然低くなっている。

問 11-4

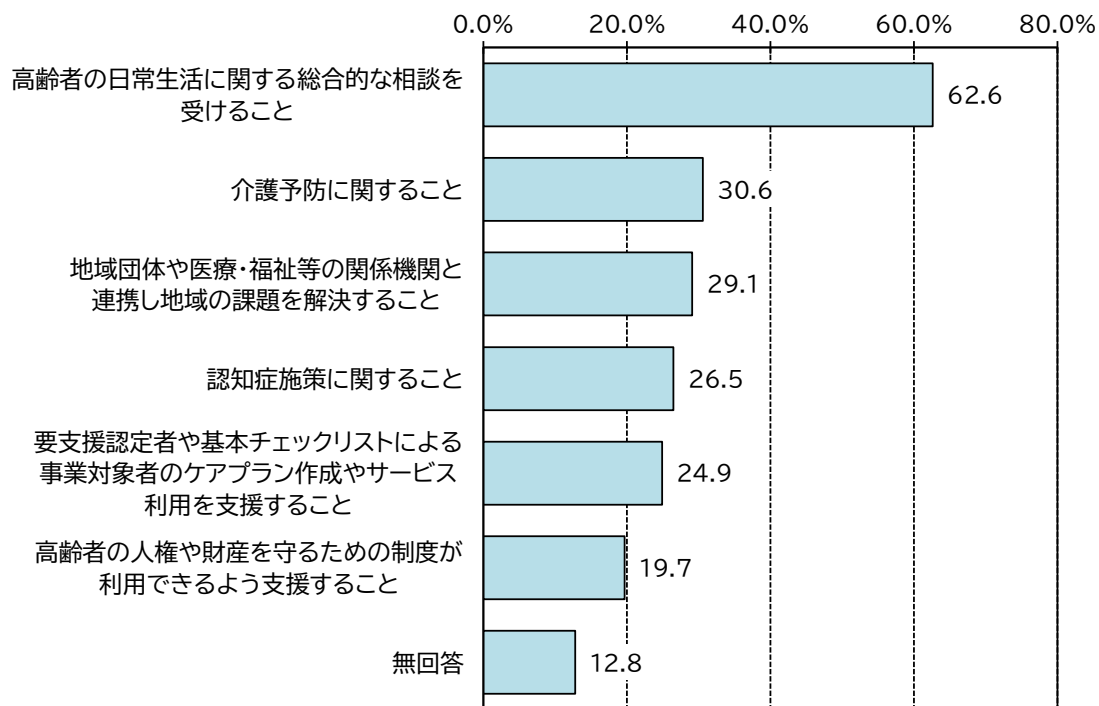
「高松市地域包括支援センター」を知っていますか。



高松市地域包括支援センターを「知っている」は26.9%（前回：22.7%）と3割未満となっている。

問 11-5

地域包括支援センターは、今後、特にどの業務を充実すればよいと思いますか。



(n=1,738)

地域包括支援センターが特に充実すればよい業務については、「高齢者の日常生活に関する総合的な相談を受けること」（62.6%（前回：61.3%））の割合が高くなっている。

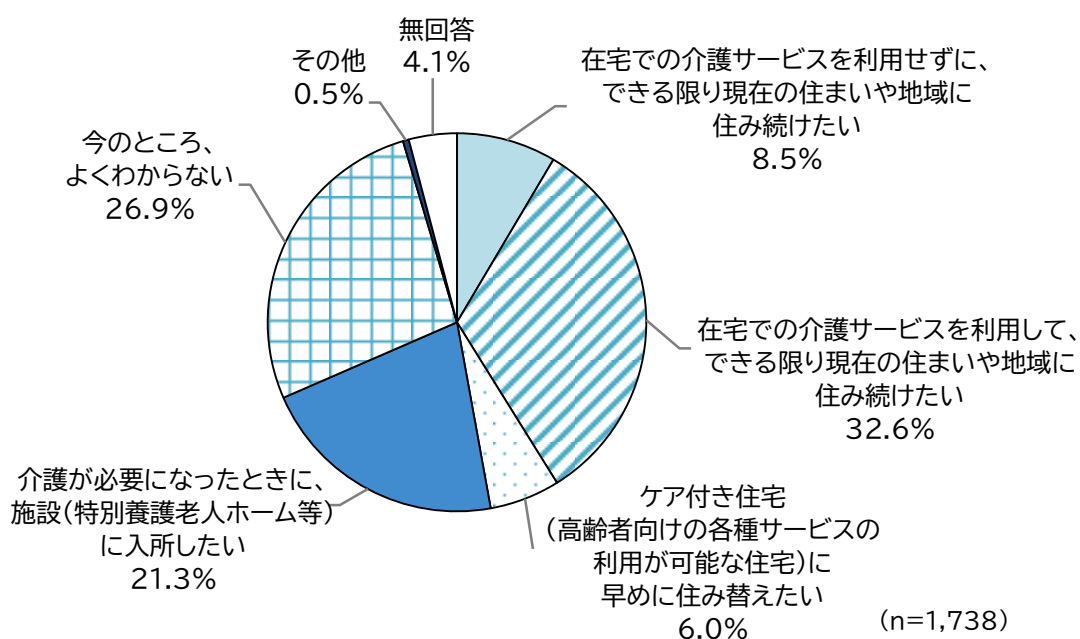
○基本目標「安心して暮らし続けられる環境づくり」、重点課題③「生活環境の充実」についてのアンケート結果

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 問 13-4 | 自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。 |
|--------|----------------------|

|                | 1 位                    | 2 位                                   | 3 位                                 |
|----------------|------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 高齢者<br>n=1,738 | 自宅<br>55.5%<br>(61.0%) | 緩和ケア施設のある<br>医療機関<br>14.7%<br>(13.5%) | 今まで通ったことのある医療機関<br>11.4%<br>(12.3%) |

最期を迎えたい場所について、「自宅」が55.5%（前回：61.0%）と最も多く、次いで「緩和ケア施設のある医療機関」が14.7%（前回：13.5%）となっている。

|        |                                                    |
|--------|----------------------------------------------------|
| 問 13-6 | 将来、あなたに介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。 |
|--------|----------------------------------------------------|



今後、介護が必要になった場合の住まいと介護サービスの利用希望について、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」と回答した人の割合が最も高く、32.6%（前回：37.7%）となっている。